



# みどりのきずな

令和5年4月発行 第40号

編集: 緑区支え合いのまち推進協議会広報部会 発行: 緑区支え合いのまち推進協議会事務局 緑保健福祉センター内

TEL:043(292)8185 FAX:043(293)8284

## 「支え合いのまち推進協議会」の活動は今後どうあるべきか

緑区支え合いのまち推進協議会 委員長 岡本 博幸

新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にあり、収束の兆しが見えてきました。マスクの着用も個人の判断に委ねられました。感染への対応を考慮した生活をしていきたいと思えます。

これまで、外出は控えめ、集会は遠慮、人との接触は最低限にといった生活が長く続き、区民の間にはコロナ疲れが出ています。地区活動は感染対策をとりながら再開されています。しかし、感染を恐れ、活動を自粛する傾向もまだ見受けられます。

緑区支え合いのまち推進協議会は3年ぶりに対面会議が令和4年7月23日・11月19日・令和5年3月18日に開催され、「令和3年度取組状況・令和4年度計画等の共有」・「第4期計画取組項目の第5期計画への反映(グループワーク)」・「第5期計画具体的な取組みの統合案の検討」が協議されました。これによって活動目標の確認と取組項目の集約化が行われました。これからはウィズコロナを踏まえ目標を設定して活動を推進していきたいと思えます。

地域においては、健康相談会、認知症への取組、健康体操、悩み相談会、ゴミ出し助け合い、買い物助け合い、見守り活動、防災・防犯の取組等、様々な事業を展開していきたいと思えます。

推進協議会は、町内自治会、民生委員・児童委員、社協地区部会をはじめとする各団体と力を合わせ、支え合いのまちづくりを一層推進していきたいと思えます。

## 「緑区支え合いのまち推進計画(第5期緑区地域福祉計画)」を策定しました

緑区支え合いのまち推進協議会

緑区では、令和4年度に「第5期緑区支え合いのまち推進計画(令和4～8年度)」を策定しました。本来は、令和3～8年度の6か年の計画を策定する予定でしたが、新型コロナの影響により、計画策定が1年延期され、「基本理念」・「3つの基本方針」のみの策定となりました。

未策定の「具体的な取組み」については、今後「見守り活動の推進」や「健康づくり支援」、「防災訓練の充実」等の地域活動など、各地域団体が活動するうえで参考となるような中長期の活動目標をまとめ、令和6年度の策定に向けて「緑区支え合いのまち推進協議会」で検討しているところです。

「緑区支え合いのまち推進協議会」では、計画の策定等を通じて、構成団体である社協地区部会や町内自治会、民生委員児童委員、あんしんケアセンター、社会福祉法人等が、お互いの活動状況等について理解するとともに、情報共有し、団体間の関係構築を図ることにより、地域活動の推進を支援してまいります。

問い合わせ 緑保健福祉センター高齢障害支援課 TEL043-292-8138 FAX043-292-8276

Email [koreichogai MID@city.chiba.lg.jp](mailto:koreichogai MID@city.chiba.lg.jp)  
Email [koreichogai MID@city.chiba.lg.jp](mailto:koreichogai MID@city.chiba.lg.jp)

TEL043-292-8185 FAX043-293-8284

Email [midori@chiba-shakyo.jp](mailto:midori@chiba-shakyo.jp)

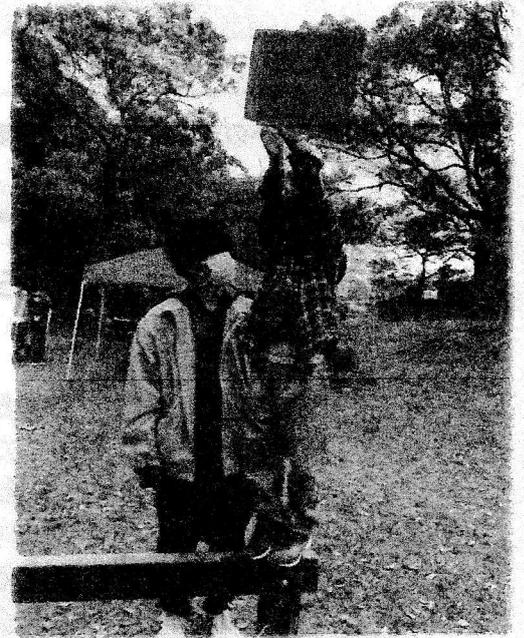
社会福祉協議会緑区事務所

## 東 北 野 地 区

### こどものまちの開催

こどものまちは、もともとは鎌取コミュニティセンターで開催していました。保護者と離れて子どもだけで運営するのがこのイベントの醍醐味となっています。新型コロナウイルスによる行動制限などにより、屋内で密になること、少ないスタッフではコントロールできないことからずっと自粛していました。

今年度は屋外で小規模開催を実施しました。屋外は屋外の良さもありますが「天候に左右される」「物理的条件によって活動内容も限定される」「参加者が未就学児や低学年が中心となるため保護者と離れることが難しくこどものまちプログラムの良さが発揮できない」等たくさんの課題もでてきます。とはいえ、小規模でもこうして活動を続けることが大事なので、今後も子どもたちに、自分で考え自分で判断し行動する場を作っていきたいと考えています。



## 誉 田 地 区

### コロナ禍における施設ボランティア活動のご紹介(ときわ園)

新型コロナウイルスが私たちの社会に登場して、はや4年目を迎えようとしています。この間多くの高齢者施設では、ボランティアの皆様にご来園いただき、楽しい歌に踊りや演奏、軽妙な話芸などをご披露いただくことができないでいます。ところが、こんな状況下でも毎週施設に通ってくださるボランティアの方がいらっっしゃいます。

越智町から毎週1~2日、自転車で通ってくださる高木さんは、平成26年4月から園庭ボランティアを開始くださり、まもなく活動歴10年目を迎える大ベテラン。生垣の刈り揃え、花や実のなる木々の枝打ちや剪定、落ち葉掃きなどを中心に活動してくださっています。木々の剪定といっても単純ではありません。翌年にも花がきれいに咲くように植物の種類や特性に合わせて、剪定時期や剪定位置を確認しながら丁寧に実施くださっています。ときわ園の利用者が四季折々の草花を楽しめる環境を、高木さんをはじめとする園庭ボランティアの皆さんが整えてくださっているのです。

ときわ園の敷地面積は14,500㎡の広さ。施設職員の手だけでは整備にかかる人手と時間が全然足りません。現在、高木さんの他に3人のボランティアの方々が園庭作業にお越しくださっており、広大な庭が清潔に保たれていること、本当に感謝です。

